

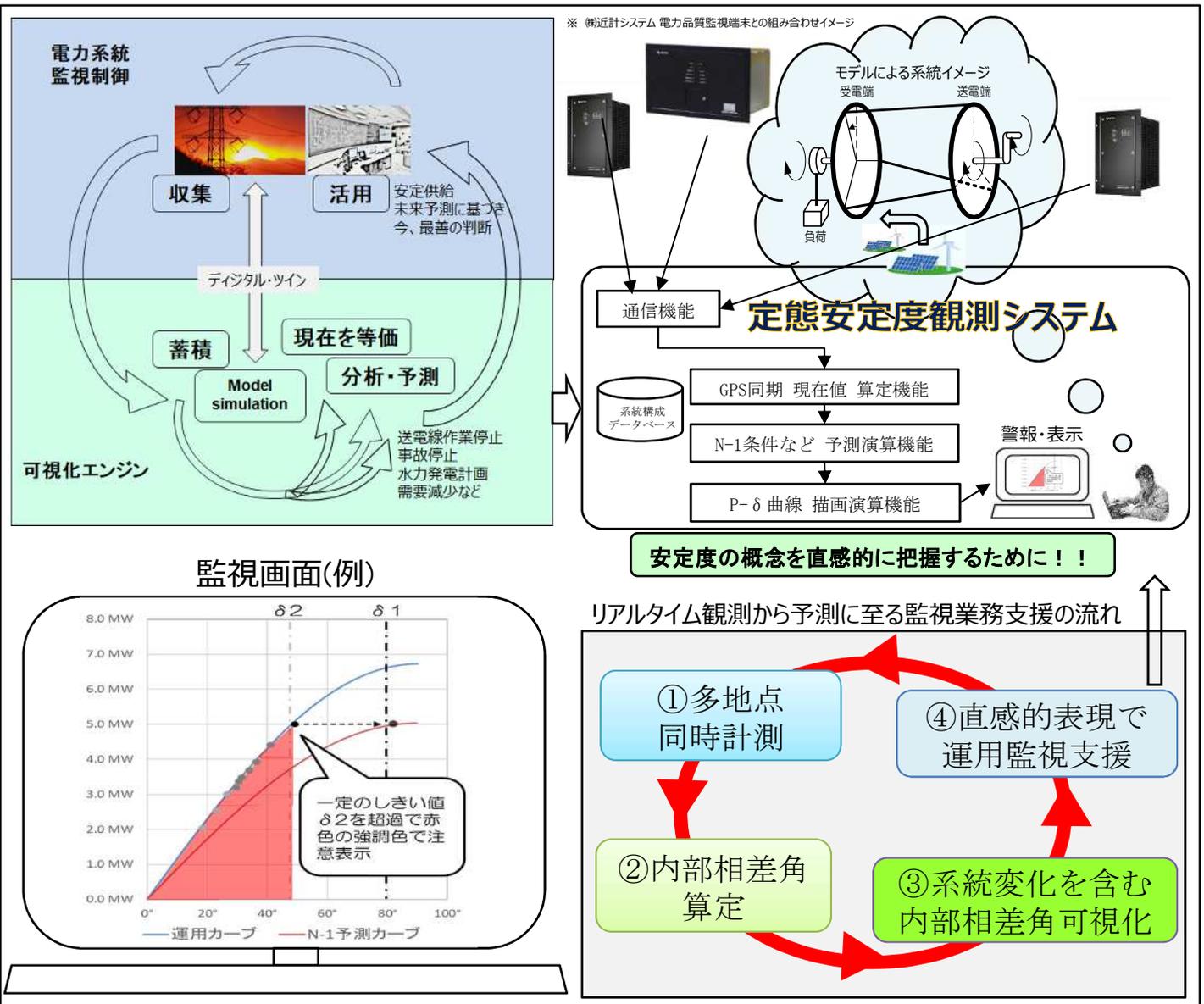
制御力で「光、風」と共創する

電力系統 定態安定度観測システム

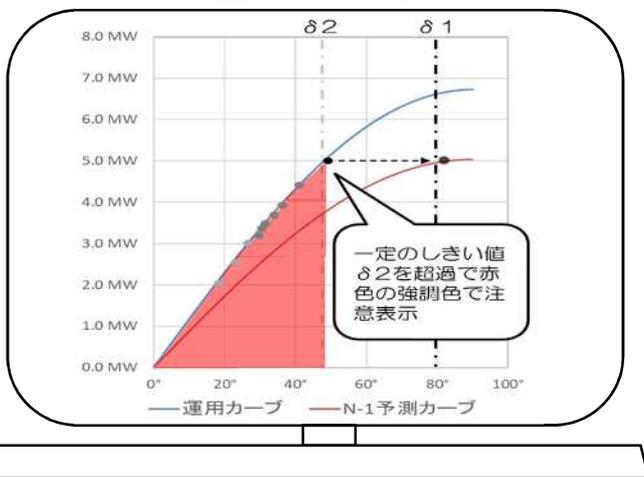
電力系統の安定運用を行うために
発電機の安定性指標となる内部相差角を P- δ 曲線を用いて直感的に把握し
リアルタイム観測と系統変化予測を組み合わせて可視化する
系統運用者向け監視支援システムです。

カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けた太陽光・風力など再生可能エネルギー電源の連系拡大に伴い、上り重潮流となる電力系統が増加しています。このような電力系統において、送電線等を作業停止(N-1)したことによるインピーダンスの増加などの条件が重なった場合、定態安定度が悪化し、発電機が動揺する等の問題が生じる可能性があります。このため、定態安定度を監視するとともに、データを収集・蓄積し知見を深める必要性が高まっています。

製品説明

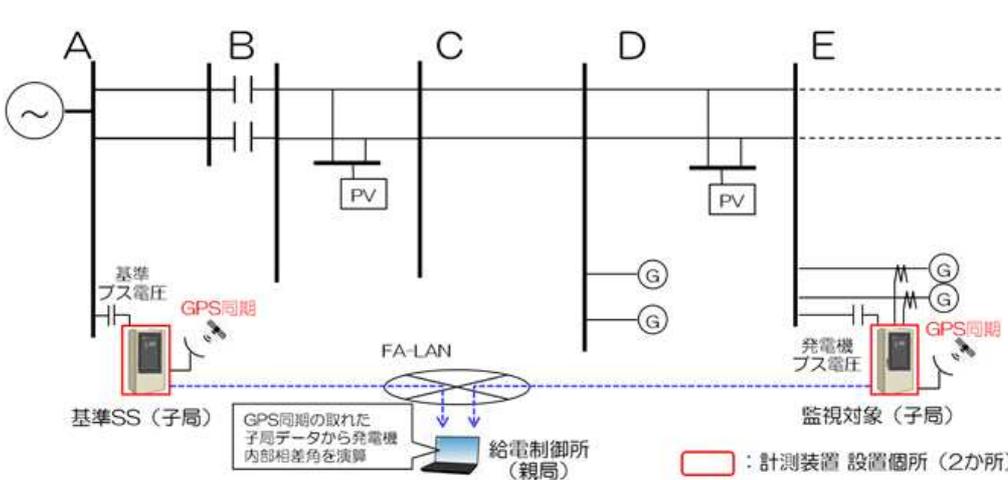


監視画面(例)

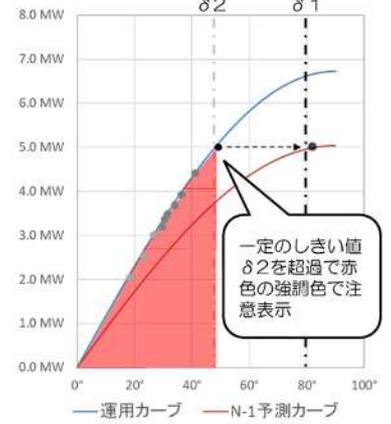


機能概要

■ GPS同期技術により同期した電圧、電流を計測する機能



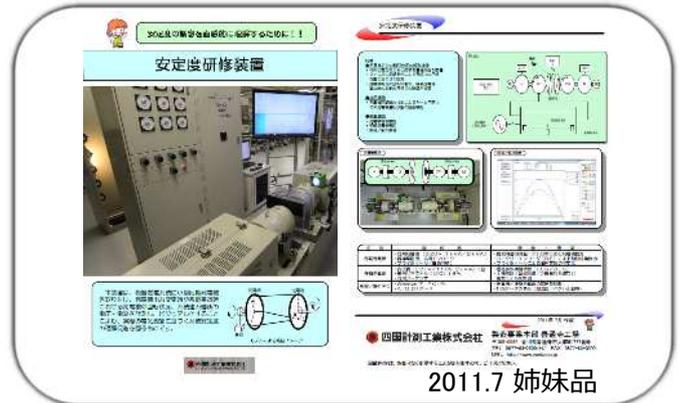
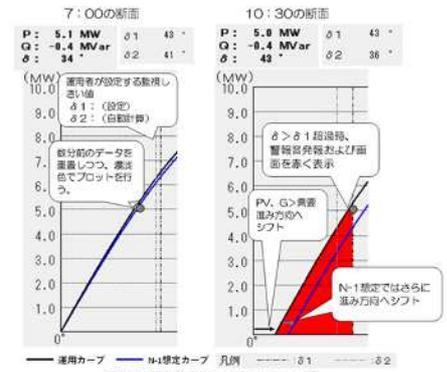
(画面例)



■ 発電機の安定性指標となる内部相差角の算定

■ 需要、再エネの変化、送電線の作業停止などを反映した内部相差角の可視化 (P- δ 曲線)

■ 直感的表現に加えて、強調色とアラームにより、系統運用者の監視業務を支援



※ 構成は導入環境によりカスタマイズ可能ですので、お問い合わせください。

